

Title	東京歯科大学研究年報 : 平成24年度
Journal	東京歯科大学研究年報, (): -
URL	http://hdl.handle.net/10130/3119
Right	

平成24年度

東京歯科大学研究年報 講座・研究室プロフィール

教養系

更新履歴

Dec 31, 2013. ver.1.0.0 最初の公開バージョン

無断で全部または一部を改変すること、電子的または印刷によって複製を作ること、再配布することを禁じます。

Copyright 2013, 東京歯科大学研究部 All rights reserved.

凡 例

1. これは、東京歯科大学における平成 24 年度(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の講座・研究室のプロフィールと研究業績をまとめたものである。
2. 業績は、担当者の所属する講座、研究室の別に分け、それぞれ論文(総説・原著/原著論文・原著/臨床研究論文・原著/症例報告論文)、解説、単行図書、学会発表、調査報告、その他の順に配列した。
3. 論文の記載は、①著者名、②題名、③掲載誌、④巻、⑤初頁 - 終頁、⑥発行西暦年の順とした。号の必要な時には、④巻のつぎに括弧で囲んで記入した。また学位論文には、⑥に続いて学位論文の種別を記入した。
4. 解説の記載は、①著者名、②題名・表題、③掲載誌、④巻、⑤初頁 - 終頁、⑥発行西暦年の順とした。
5. 単行図書の記載は、①著者名、②単著・共著・著分担・監修・編集・訳の別、③書名、④発行西暦年、⑤出版社または発行所、⑥出版都市名、⑦ ISBN/ISSN 番号の順とした。単行図書の一部を分担執筆した場合には、③書名に続いて、分担部分の表題、その初頁 - 終頁を追記した。
6. 学会発表の記載は、①演者名、②演題表題、③抄録掲載誌、④巻、⑤初頁 - 終頁、⑥発行西暦年、⑦発表学会、⑧開催地の順とした。
7. 調査報告は、①著者名、②単著・共著・著分担・監修・編集・訳の別、③報告書名、④発行者名、⑤発行西暦年の順とした。一部を分担した場合には、④発行者名に続いて、分担部分の表題、その初頁 - 終頁を追記した。
8. その他には、上記のカテゴリに該当しない学術的業績を記載した。
9. 学会等に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演はプロフィールの「研究活動の特記すべき事項」の項目に記載した。
10. 医学知識の啓発を目的とする講演会(一般市民を対象とするもの)における講演・発表や、メディア等への掲載・出演は、プロフィールの「社会的貢献・社会に対する活動」の項目に記載した。
11. 業績の後にはつぎの事項をその順序に従って記入した。①文科省科研費の種別、②その他の助成金・受賞等、③著者・発表者の所属機関の名称、④ DOI、PubMed ID、URI、医学中央雑誌番号等の標識。
12. 発表者の所属機関は検索の利便を考慮して略記せず、可及的に正式な機関の名称を表記した。東京歯科大学の各部署の表記規則については後掲の別表に定めるところに拠った。
13. 欧文で発表されたものについては、氏名は ICMJE (International Committee of Medical Journal Editors) が推奨する形式 (Vancouver Style) に準じて、ローマ字で表記するものとした。
例 : Nakamura T, Tanaka Y, Smith AJ.

所属機関の表記は検索の利便を考慮して、欧文で発表されたものであっても、本学および国内機関の名称は和名で表記した。これは同一の機関や部署であっても、発表ごとに英文表記が異なる場合が多いためである。
例 Dept. of Periodontology, Tokyo Dental College → 東京歯科大学歯周病学
14. 雑誌名は英文誌においては NLM (National Library of Medicine) の NLM Catalog: Journals referenced in the NCBI Databases (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>) の定めるところに拠って略記した。国内和文誌においては略記せず正式な誌名をそのまま表記した。

部署名表記の規則

1. 必ず東京歯科大学を先頭に付ける。
 - a. 市川総合病院、水道橋病院の部署はそれぞれの名称を東京歯科大学に続けて表記する。
2. 部署名の後に「講座」、「研究室」等の名称は表記しない。
3. 区切りスペースは用いない。
4. 東京歯科大学水道橋病院口腔健康臨床科学講座の各分野は、分野名を続けて表記する。ただし分野名に付く「科」は省略する。
5. 中黒・は下記に限り使用する。
 - a. 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学
 - b. 東京歯科大学千葉病院摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科

- c. 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座の各分野
 - d. 東京歯科大学口腔科学研究センターの各部門
6. 学外の研究機関については業績の根拠となるデータ（論文・学会発表の抄録など）に記載された表記に拠る。ただし下記については共著となる例が多いので統一規則を用いる。

慶應義塾大学医学部	例) 慶應義塾大学医学部眼科
東京慈恵会医科大学	例) 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科
東京都立大塚病院口腔科	
東京都立府中病院歯科口腔外科	

平成 24 年度東京歯科大学研究年報 部署コード番号および表記の一覧

- 001 東京歯科大学解剖学
- 002 東京歯科大学口腔超微構造学
- 003 東京歯科大学生理学
- 004 東京歯科大学生化学
- 006 東京歯科大学微生物学
- 007 東京歯科大学薬理学
- 008 東京歯科大学歯科理工学
- 009 東京歯科大学衛生学
- 010 東京歯科大学法歯学
- 011 東京歯科大学社会歯科学

- 101 東京歯科大学歯科保存学
- 102 東京歯科大学歯周病学
- 104 東京歯科大学小児歯科学
- 105 東京歯科大学口腔外科学
- 106 東京歯科大学歯科麻酔学
- 107 東京歯科大学有床義歯補綴学
- 108 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学
- 109 東京歯科大学歯科矯正学
- 110 東京歯科大学歯科放射線学
- 111 東京歯科大学スポーツ歯科学
- 112 東京歯科大学臨床検査病理学
- 113 東京歯科大学口腔インプラント学
- 114 東京歯科大学千葉病院総合診療科
- 219 東京歯科大学口腔がんセンター

- 201 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学
- 202 東京歯科大学市川総合病院内科
- 203 東京歯科大学市川総合病院外科
- 204 東京歯科大学市川総合病院循環器内科
- 205 東京歯科大学市川総合病院心臓血管外科
- 206 東京歯科大学市川総合病院消化器内科
- 207 東京歯科大学市川総合病院小児科
- 208 東京歯科大学市川総合病院脳神経外科
- 209 東京歯科大学市川総合病院整形外科
- 210 東京歯科大学市川総合病院産婦人科
- 211 東京歯科大学市川総合病院眼科
- 212 東京歯科大学市川総合病院耳鼻咽喉科
- 213 東京歯科大学市川総合病院皮膚科
- 214 東京歯科大学市川総合病院泌尿器科
- 215 東京歯科大学市川総合病院放射線科
- 216 東京歯科大学市川総合病院麻酔科
- 217 東京歯科大学市川総合病院精神科
- 218 東京歯科大学市川総合病院臨床検査科
- 220 東京歯科大学市川総合病院形成外科

- 505 東京歯科大学市川総合病院角膜センター
- 301 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科保存
302 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科補綴
303 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔外科
304 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科矯正
305 東京歯科大学口腔健康臨床科学・小児歯科
306 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科麻酔
307 東京歯科大学口腔健康臨床科学・口腔インプラント
308 東京歯科大学口腔健康臨床科学・総合歯科
309 東京歯科大学口腔健康臨床科学・歯科放射線
310 東京歯科大学水道橋病院眼科
311 東京歯科大学水道橋病院内科
- 401 東京歯科大学英語
402 東京歯科大学独語
403 東京歯科大学数学
404 東京歯科大学物理学
405 東京歯科大学化学
406 東京歯科大学生物学
407 東京歯科大学体育
408 東京歯科大学法人類学
- 501 東京歯科大学口腔科学研究センター（hrc7, hrc8を含む）
502 東京歯科大学口腔科学研究センター・口腔インプラント学研究部門
504 東京歯科大学歯科医学教育開発センター

その他

放射線技師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、薬剤師等の所属を示す場合の例

東京歯科大学千葉病院放射線科
東京歯科大学千葉病院歯科衛生士部
東京歯科大学千葉病院医療安全管理室
東京歯科大学千葉病院看護部
東京歯科大学市川総合病院看護部
東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科
東京歯科大学市川総合病院栄養管理室
東京歯科大学市川総合病院薬局
東京歯科大学水道橋病院放射線科
東京歯科大学水道橋病院歯科技工室

学生が著者の場合は 東京歯科大学（学生）とした。
名誉教授・元教授は元の所属講座が記載されていない場合に限って、東京歯科大学とした。

1. 英語研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

准 教授	森田 雅義	瞬間英作文を活用した英語指導法 効果的な発音指導の在り方
	柴家 嘉明	歯科医学英語教授法

2. 成果の概要

1) 瞬間英作文を通じた英語指導法

昨年度に引続き、日本語を聞いて（見て）即座に英語にする「瞬間英作文」の手法を授業の中心的な活動の1つに取り入れた。学生の授業評価等によれば、概ね「ために成りそう」といった感想があり、やり方を工夫しながら続けていきたい。

2) 効果的な発音指導の在り方

これも昨年度に続き、授業の中に継続的に取り入れ、且つ定期試験の中にも出題した。引き続き実践していきたいと思う。

3. 教育に関する業績、活動

教育ワークショップ・FD 研修

氏名	年月日	ワークショップ・研修会名	役割	開催地
柴家 嘉明	2013. 2.24	平成24年度東京歯科大学 第4学年OSCE	入力係	千葉市

3. 数学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

准教授 高際 睦 歯科医学データの統計解析(A01-1200-6)

2. 成果の概要

t検定をはじめとする多くの検定における検出力の計算は容易ではない。そこでそれらの近似、および、シミュレーションを用いた計算方法について考察している。

3. 教育に関する業績、活動

教育ワークショップ・FD研修

氏名	年月日	ワークショップ・研修会名	役割	開催地
高際 睦	2012. 8.30	平成24年度教育ワークショップ 学生サポート体制の構築	作業部会委員	千葉市

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義・実習

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
高際 睦	前期	基礎数学	東京医療保健大学	東京都世田谷区
高際 睦	春学期	入門統計学	早稲田大学国際教養学部	東京都新宿区
高際 睦	秋学期	入門統計学	早稲田大学国際教養学部	東京都新宿区

4. 物理学研究室

プロフィール

1. 教職員と主研究テーマ

教授	望月 隆二	歯科医学準備教育としての物理教育(A05-1240-1)
准教授	池上 健司	Black Holeに落ち込む粒子からの輻射(A97-1240-2)

2. 成果の概要

1) 歯科医学準備教育としての物理教育 (A05-1240-1)

自然科学演習、基礎理解度テストについてアンケートや定期試験の成績などを基に評価し、平成24年度教育ワークショップ「学生サポート体制の構築」において、議論を進める上での資料とした。

2) Black Holeに落ち込む粒子からの輻射 (A97-1240-2)

強い重力下での物理を理解するために、量子論的真空を定義する判断基準が必要となる。その定義は異なったいくつかのものがあり、現在まで重力場中での真空の定義を選ぶ判断基準は分かっていないため、様々な状況を計算する手法が真空の定義の仕方によりいくつか現れている。そのどれを採用するべきか研究している。

Modern Physics Letters A 27(24): 1250134, 2012.

Journal of Modern Physics 4(2): 267-271, 2013.

3. 教育に関する業績、活動

医学教育・歯学教育に関連する講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
望月 隆二	2012. 6.18	基礎学力テストの結果から	東京歯科大学歯科医学教育セミナー	千葉市

教育ワークショップ・FD研修

氏名	年月日	ワークショップ・研修会名	役割	開催地
望月 隆二	2012. 8.30	平成24年度教育ワークショップ（報告会） 学生サポート体制の構築	発表者	千葉市
池上 健司	2012. 8.30	平成24年度教育ワークショップ（報告会） 学生サポート体制の構築	発表者	千葉市

共用試験

氏名	年月日	種別	役割	開催地
望月 隆二	2013. 3.24	平成24年度東京歯科大学 第4学年OSCE	評価シート回収・入力係 責任者	千葉市
池上 健司	2013. 3.24	平成24年度東京歯科大学 第4学年OSCE	評価シート回収・入力係	千葉市

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義・実習

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
望月 隆二	2012.10-2013. 2	物理学の世界	千葉大学	千葉市

原著/原著論文 3

24404001 原著/原著論文

Mochizuki R, Ikegami K.

Stability of S-brane singular solutions and expansion of the universe.

Modern Physics Letters A, 27(24), 1250134, 2012.

東京歯科大学物理学

DOI : 10.1142/S0217732312501349

24404002 原著/原著論文

Mochizuki R.

Simultaneous measurability of error and disturbance.

J Modern Physics, 4(2), 267-271, 2013.

東京歯科大学物理学

DOI : 10.4236/jmp2013.42036

24504003 原著/原著論文

Yamamoto H1) , Murakami S2), Hirata S3), Sugihara N4), Mochizuki R5), Takahasi T6), Kawada E1)

Establishment and current status of patient community at Tokyo Dental College

Bull Tokyo Dent Coll, 53(3), 147-153, 2012.

1) 東京歯科大学歯科医学教育開発センター、2) 東京歯科大学臨床検査病理学、3) 東京歯科大学社会歯科学、4) 東京歯科大学衛生学、5) 東京歯科大学物理学、6) 東京歯科大学千葉病院総合診療科

PubMed ID : 23124305

学会発表・示説 1

24504002 学会発表・示説

山本仁1)、村上聡2)、平田創一郎3)、杉原直樹4)、高橋俊之5)、望月隆二6)、河田英司1)、井出吉信7)

東京歯科大学における市民参加型教育団体Patient Communityとその授業参加について

第31回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 116, 2012.

第31回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 岡山市

1) 東京歯科大学歯科医学教育開発センター、2) 東京歯科大学臨床検査病理学、3) 東京歯科大学社会歯科学、4) 東京歯科大学衛生学、5) 東京歯科大学千葉病院総合診療科、6) 東京歯科大学物理学、7) 東京歯科大学解剖学

5. 化学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教 授 加藤 哲男 歯周炎およびインプラント周囲炎のリスク因子としての免疫応答の解析(A09-1310-1)

2. 成果の概要

1) 米ペプチドCLの内毒素活性抑制効果 (A09-1310-1)

米ペプチド CL(14-25) (Cyanate lyase, Rice: RRLMAAKAESRK) を用いて、内毒素のヒト培養細胞からの炎症性サイトカイン誘導能に対する抑制効果について検討した。CL ペプチドは、共試したすべての LPS および lipid A の IL-6 産生誘導能に対して有意な ($p < 0.05$) 抑制効果を示した。また、CL ペプチドの示した抗内毒素活性は、活性中心である lipid A に結合することによって発揮されることが示唆された。

「米タンパク質の新規生体調節機能性の先導的開発と機構解析」研究課題成績書
(平成23年度～平成24年度) 2013.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
加藤 哲男	唾液タンパク質の口腔保健への応用	新潟工科大学	柏崎市	斎藤 英一
加藤 哲男	天然抗菌物質の歯周病原細菌感染に対する抑制効果	新潟大学工学部	新潟市	谷口 正之

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
加藤 哲男	唾液タンパク質のバイオフィーム形成抑制と病原因子に対する阻害効果	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業・hrc8
加藤 哲男	ヒト細胞の炎症性サイトカイン産生抑制作用	平成24年度「農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発」委託事業

5. 教育に関する業績、活動

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
加藤 哲男	2012. 7.27	米ペプチドの内毒素活性抑制効果と細胞毒性評価および H. pylori に対する効果	平成 24 年度 第 1 回米タンパク質機能性コンソーシアム会議	札幌市
加藤 哲男	2013. 1.10	米ペプチド CL の LPS マウス致死活性に対する抑制効果とマウス経口投与毒性評価	平成 24 年度 第 2 回米タンパク質機能性コンソーシアム会議	東京都港区

原著/原著論文 1

24502051 原著/原著論文

Egawa M1)2), Miura T1), Kato T1)3), Saito A2), Yoshinari M1).

In vitro adherence of periodontopathic bacteria to zirconia and titanium surfaces.

Dent Mater J, 32(1), 101-106, 2013.

1) 東京歯科大学口腔科学研究センター・口腔インプラント学研究部門、2) 東京歯科大学歯周病学、3) 東京歯科大学化学

DOI: 10.4012/dmj.2012-156 PubMed ID: 23370877

学会発表・口演 2

24102051 学会発表・口演

橋本健司、高山沙織2)、齋藤淳2)、加藤哲男2)、落合秋人1)、田中孝明1)、谷口正之1)

米由来抗菌ペプチドによるLPS誘導炎症性サイトカイン産生の抑制

日本生物工学会大会講演要旨集, 88, 2012.

第64回日本生物工学会大会 神戸市

1) 新潟大学自然科学研究所、2) 東京歯科大学歯周病学、3) 東京歯科大学化学

医中誌 ID: 2013125550

24502012 学会発表・口演

白井亮1)2)、三浦直1)、江川昌宏1)3)、伊藤太一1)2)、加藤哲男1)4)、吉成正雄1)、矢島安朝1)2)

インプラント周囲炎治療への光触媒技術の応用

歯科学報, 112(4), 538, 2012.

第294回東京歯科大学学会(総会) 千葉市

1) 東京歯科大学口腔科学研究センター・口腔インプラント学研究部門、2) 東京歯科大学口腔インプラント学、3) 東京歯科大学歯周病学、4) 東京歯科大学化学

医中誌 ID: 2013124490

学会発表・示説 1

24113014 学会発表・示説

小田貴士1)、伊藤太一1)、加藤哲男2)、矢島安朝1)

チタン埋入時のマウス血中サイトカインプロファイルの変化

日本歯科医師会雑誌, 65(5), 675, 2012.

第22回日本歯科医学会総会 大阪市

1) 東京歯科大学口腔インプラント学、2) 東京歯科大学化学

医中誌 ID: 2013031342